

栃の木からの手紙

2026年 水無月 6月号



6日： 芒種
21日： 夏至
23日： 沖縄慰霊の日
15日： 新月 旧 5月 1日
5月10日12時から、MOA美幌センターの外で自然農法産のリーフレタス苗2種類をセットにして¥300円で販売し売り上げの一部（¥50円×10個＝¥500円）を美幌会会費に計上しました。残り¥250円×10個は、高橋農場の税込みの売り上げとしました。ご協力ありがとうございました。

尚、64セットが残りましたが、午後には、美幌観光物産「ぽっぽ屋」に税込み¥250円で並べさせて頂きました。

一週間後の結果、ぽっぽ屋で10セット販売後残数54セット。14日に一個¥70円で販売。17日の夕方引き上げて残数は緑50個、赤42個。

残念ながら持ち帰った苗は、その日のうちにハウスの中と露地に移植しました。

翌18日には、トレイに残っていた小さなセルトレイの苗をハウスに移植しました。レタス総数、緑75個、赤75個、計150個。この内、製品として販売されるのは何個になるだろうか？

【 食べ物の価格 】 価格 = 原価 + 利益
原価の3要素 = 材料費・労務費・経費
苗を移植する場所を準備し店から引き上げて移植するのに6時間掛かり、150個の苗で換算すると、移植する



だけで1個当たり¥50円の労務費が増え、経費も増加しました。
製品になるまでには、まだまだ管理作業が続きます。

【 移植した苗の状況 】 移植したから育つというものではない。移植した時期・場所などによって変わってくる。こちらが、作物にとって良い場所だと思っても、実際に育てていると見えてくるものがある。



☞ 5月5日 6セット移植（露地）

セルトレーから直接露地に移植したもので、このレタスは小さいが締りがあり生育が良い。水は、降雨だけ。



☞ 5月17日 戻りレタス移植（露地）

セルトレーからポリポットに移植、10日に美幌センターで販売、ぽっぽ屋で1週間販売後戻して露地に移植したもの。降雨による水分だけで生育している。外側の葉は枯れている。



☞ 5月17日 戻りレタス移植（育苗ハウス）

上記露地物と同じ条件ですが、ハウスの中で幾らか暑い。でも、毎朝晩水を貰い、遮光ネットで暑い陽射しを遮ってもらっている。でも、生育は悪そう。

一般ビートの育苗に使っていたハウスで数年は作物を入れていないので土の状態が悪くなっているのかも知れない。

👉 いつも綺麗にさせていただきありがとうございます。



6月2日、美幌センターの藤の様子を見てきた。満開を過ぎた様だが素敵な色をしている。栃の木も丸々として健康そうな色をしている。これからシャンデリアの様な花が楽しみです。